

『あたたかい言葉のかけ方』

1. 展開案

過程	学習活動	教師のはたらきかけ	留意すること
わかる	<p>1. 本時の目標を知る。</p>	<p>○今日はあたたかい言葉の掛け方について学習します。みんなの前で発表してもらったり、練習したりすることがありますが、ふざけたり恥ずかしがったりせずに積極的に取り組みましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ふざけない ・恥ずかしがらない </div> <p>○何かに失敗して落ち込んでいるときに、優しい言葉を掛けられると元気が出てきます。また、成功して喜んでいるときにそれを認められると、さらに嬉しくなりますね。</p> <p>○今までどんな言葉を掛けてもらってうれしかったですか。どんな言葉を掛けてもらおうと嬉しいと感じますか。</p> <p>○そうですね。そのような言葉を掛けられると、嬉しくなりますね。</p> <p>○「言葉」には喜ばせたり元気にしたりする働きがあるのです</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールが必要な理由を添えて説明する。 ・生徒に発表させる。 ・「私でよかったら話して」「最近様子変だけど、何かあった」「よかったね」「がんばったね」「おめでとう」など ・言葉には感情に働きかけ、人を気持ちよくさせる力があることを理解させる。
<p>あたたかい言葉のかけ方を練習しよう</p>			
	<p>2. モデリングを見て、あたたかい言葉掛けのポイントに気付く。</p> <p>【モデリング】</p> <p>I 相手の気持ちを考えないで</p> <p>II ポイントを意識して</p>	<p>○言葉を掛けるときの2つの場面を見てください。どちらの言葉掛けの、どのようなところがよいか考えながら見てください。</p> <p>○どちらの言葉掛けのどのようなところがよかったと思いますか。</p> <p>○あたたかい言葉の掛け方のポイントをまとめましょう。</p> <p>○まず、相手のそばに行きます。そして相手の状況に合わせた声の大きさを言葉に掛けます。次に、相手の様子や状態を言葉にすることで相手を肯定します。最後に相手を思いやる言葉を添えるといいですね。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【あたたかい言葉かけのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①相手に近づく ②適度な声の大きさ ③相手を肯定する ④相手を思いやる言葉を添える </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と生徒、または生徒同士で演じさせる。 ※モデリングシナリオ参照 ・言葉を掛けられたときの気持ちにどんな違いがあったか「生徒A役」に聞く。 ※ワークシート参照 ・ワークシートを配布し、ポイントを記入させる。

<p>や っ て み る</p>	<p>3. あたたかい言葉掛けのポイントに気を付けながら練習①をする。</p> <p>4. 練習①を振り返る。</p> <p>5. あたたかい言葉掛けのポイントに気を付けながら練習②をする。</p> <p>6. 練習②を振り返る。</p>	<p>○これから練習をします。3人グループで「生徒A役」「生徒B役」「観察役」を決めてください。</p> <p>○役割が決まったら、あたたかい言葉掛けのポイントに気を付けながら練習①をしてください。</p> <p>○1回の練習が終わったら、「観察役」はよかったところを伝えてください。</p> <p>○役割を交替しながら全ての役割を練習してください。</p> <p>○全ての役割の練習が終わったら、それぞれワークシートに自己評価をしてください。</p> <p>○ポイント以外でよかったところを紹介してください。</p> <p>○あたたかい言葉を掛けるときは、相手に気持ちが伝わりやすい言い方があります。</p> <p>○もう一度練習します。ワークシートの練習②の場面の中から2つを選んで練習します。3人グループで「生徒A役」「生徒B役」「観察役」を決めて練習してください。</p> <p>○4つのポイント以外にポイントを加えてもいいです。</p> <p>○1回の練習が終わったら、「観察役」はよかったところを伝えてください。</p> <p>○役割を交替しながら全ての役割を練習してください。</p> <p>○一つの場面が終わったら、もう一つの場면을同じように練習しましょう。</p> <p>○全ての役の練習が終わったら、ワークシートに自己評価をしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの活動を観察し、必要に応じてアドバイスをします。 ・「観察役」はポイントを押さえて言葉を掛けることができているか観察するよう促す。 ・ポイントを自己評価させる。 ・いくつかのグループに発表させ、その都度ほめる。 ・ワークシートの『気持ちが伝わりやすい言い方』を確認する。 ・時間に応じて場面を選択させたり、グループで他の場面を設定させたりしてもよい。 ・各グループの活動を観察し、必要に応じてアドバイスをします。 ・加えたポイントはワークシートに記入させる。 ・「観察役」はポイントを押さえて言葉を掛けることができているか観察するよう促す。 ・同じ手順で練習させる。 ・ポイントを自己評価させる。
<p>ふ り か え る</p>	<p>7. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日は「あたたかい言葉掛け」を練習しました。今日の学習を振り返り、どんな気持ちがあったか、ワークシートに記入しましょう。</p> <p>○落ち込んでいる人を励ますつもりで声を掛けても、「余計なお世話だ」と言われることがあるかもしれません。自分は親切なつもりでも、相手にとっては「おせっかい」と感じられることもあるのです。その時は相手の気持ちを受け止めて、それ以上深入りせず、「必要なときには話してね」といつで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに振り返りを記入させ、回収する。 ・数人に感想を言わせてもよい。 ・あたたかい言葉掛けをしても、相手が受け入れない場合もあることに留意させる。タイミングが合わないときもあり、自分を否定されているのではないことを押さえる。

		<p>も待っているという気持ちを相手に伝えるだけで十分です。その人はまだ相談できる状態ではなかっただけなのですから、時期が来れば気持ちが通じ合えるはずです。</p> <p>○今日から1週間、自分があたたかい言葉を掛けたときの様子をチャレンジシートに記録しましょう。</p>	<p>※チャレンジシート参照</p> <ul style="list-style-type: none">・時間や機会がなければチャレンジシートの作成・提出は省略する。
--	--	--	---

モデリングシナリオ

場面設定

昼休み、生徒Aが学校の購買部でジュースを買おうとバックの中を見ると、財布がないことに気付いた。もしかしたら、登校中に落としたのかもしれない。

(登場人物) 生徒A…財布を落とした人 生徒B…生徒Aの友人

モデリングⅠ 相手の気持ちを考えないで話し掛ける。

生徒A : (バックの中を何か探している様子) 「あれ？」

生徒B : (生徒Aのほうを見て) 「えっ？」

生徒A : 「財布が見つからないんだ。どこかに落としたかもしれない。帰りに、問題集を買おうと思って、親からお金をもらっていたのに…」 (落ち込んだ様子)

生徒B : 「ばかだなあ。何やってるんだよ。もっと、よく探せば。それより、ジュース何を買おうかな。」

生徒A : 「(少しいらいらした様子で) 財布がないって、言ってるのに。」

モデリングⅡ 相手の気持ちを考えて言葉を掛ける。

生徒A : (バックの中を何か探している様子) 「あれ？」

生徒B : (生徒Aに近づいて) 「どうしたの？」

生徒A : 「財布が見つからないんだ。どこかに落としたかもしれない。帰りに問題集を買おうと思って、親からお金をもらっていたのに…」 (落ち込んだ様子)

生徒B : 「(心配そうに) えっ、財布がないの？ それは困ったね。そうだ、学校で落とし物がなかったか、先生に聞いてみた方がいいかも。もし、登校中に落としたんだったら、交番に届けであるかもしれないよ。見つかるといいね。」

生徒A : 「そうだね。今から、職員室に行ってみるよ。ありがとう。」

3. 活用場面のアレンジ例

「⑦あたたかい言葉掛け」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

友達が立派なことや、優れたことをしたとき
友達が頑張ろうとしているとき
友達が嬉しそうとき
友達が辛そうとき
友達が不安そうとき
友達が失敗したとき
友達が初めての挑戦をしようとしているとき
友達が緊張しているとき
友達の体調が悪そうとき
欠席していた友達が学校に出てきたとき